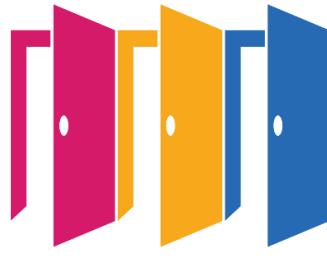


Rotary  *Weekly Bulletin*
KAKOGAWAHEISEI R.C.

加古川平成ロータリークラブ
 会長 好崎泰州
 幹事 岬本徹也
 広報小委員長 山本裕一
 2680 地区ガバナー 高瀬英夫

例会日／毎水曜日 12:30~13:30・例会場／加古川プラザホテル
 事務局／加古川市加古川町溝之口 800 加古川商工会議所会館
 Tel. 079-422-8000 FAX. 079-422-8100
 ホームページ <http://k-heisei-rc.com> / Eメール heiseirc@basil.ocn.ne.jp



2020~2021年度 RI会長 ホルガー・クナーク

No. 1425 March 3, 2021

例会プログラム

第 25 回(3 月 3 日)

「オンライン例会」

例会当番 好崎

次週例会プログラム

(3 月 10 日)

卓話

「黄綬褒章を受章して」

宮宅 勇二会員

前週例会報告

◊ ゲスト

◊ ビジター

◊ 出席率 会員数 16名 出席数 10名 欠席数 4名 出席率 71.43%
 出席計算会員数 14名 12月 16日 補正出席率 92.85%



◊ 欠席者 4名 井上 鈴木 藤田 松尾

◊ メーカップ 2021年2月4日 第6回規定審議委員会 林
 2021年2月21日 2021年地区チーム研修セミナー 好崎 林



★ Zoom でのオンライン例会

RIテーマ ロータリーは機会の扉を開く

会長の時間

会長 好崎 泰州

緊急事態宣言を受けての2回目のオンライン例会となりました。

僕はようやく最後の正月行事の「厄神さん」が昨日で終わり、ホットしております。通常でしたら、今日・明日あたりにどこかに飲みに出て、自分自身へのご褒美のご苦労さん会をするのですが、この状態ですので暫く自粛モードで我慢しないといけません。

来週からは2月3日の「初午」、15日の「二の午」、18日・19日の2回目の「厄神さん」の準備に入ります。したがって、2月の終わりまでゆっくり休んでおられません。

良く言われますが「厄除」で何時頃から始まったのでしょうか考察してみました。

起源としては「陰陽道」に有るとされておりまして、平安時代には貴族階級の間で行われていたとされます。一般的に行われるようになったのは、江戸時代に入り「暦」が普及したことにより、厄年も普及し神社仏閣での「厄除」が流行しました。現代では成人儀式として普及しております。厄年とは、数え年で男性が25・42・61歳。女性が19・33・37・61歳になる1年間のことを言います。その前年を「前厄」、後年を「後厄」として、それぞれ3年間の注意を促しております。

中でも、男性は42歳、女性は33歳「大厄」と云い、特に注意が必要な年齢です。

厄年の時には変化や人生の転機が訪れる人が多いと言われており、予期せぬ災難に遭いやすく、体調や精神的にも落ち着かないことが増える傾向が有ります。

この年齢での、進学・就職・転職・昇進・退職・結婚・出産など、少し考えただけでも思い当たる人もいるのでは?

ではどうすればいいのでしょうか、民間伝承として風習的に残っているのは、「身代わり」として、お参りの際に、身に着けている小物をわざと落とし、それによって「厄」と一緒に落とす。節分や厄除祭で餅や豆を厄と一緒に撒き、他人に拾ってもらい、宅を分担してもらう。などの風習がある地域が有ります。

一般的には、神社などで厄除の御祈祷をしていただき、厄除の御札や身に付ける御守などをいただき、災厄から守っていただく事が多いです。

近年は、厄年の人に厄除となるものを贈る風習も有ります。

この場合、肌身離さず持てる物として、男性には「ネクタイ・ベルト」、女性には「帯・マフラー。スカーフ・ネックレス。ブレスレット」等のアクセサリーなどを贈り物とされております。男女兼用としては、「財布」などをよく用いられております。

さて、今日は前半の反省会を兼ねてのクラブ協議会です。慎重審議をお願い致します。

本日の幹事報告

※ 例会欠席の時は必ず事前に事務局へ連絡!

① 各ロータリークラブ例会変更のお知らせ

明石R C 3月17日(水)→年間計画により休会 定款第7条第1節(d)

3月3日(水)→臨時休会 定款第7条第1節(d)3

明石東R C 3月4日(木)→臨時休会

加古川R C 3月2日、3月30日(火)→例会取りやめ【定款第7条第1節(d)】

加古川中央R C 3月4日、18日(木)→例会取消【定款第7条第1節(d)】による

高砂R C 3月5日(金)→休会【定款第7条第1節(d)】

高砂青松R C 3月3日(水)→Zoom例会

② 回覧します

・神戸西R Cより第44回ロータリー少年少女キャンプご案内

・仙台ロータリークラブからのお知らせと週報

・第23回『発達障害理解のための基礎と実践講座』開催のご案内

・2020-21年度国際大会について

・R I事務総長ジョン・ヒューコ氏のご挨拶

③ 例会終了後に定例理事・役員会を開催します。

2月度理事・役員会報告

I 協議事項

1) 3月プログラムの件

3月 3日 (水) : オンライン例会

林 知宏例会担当小委員長

3月 10日 (水) : 卓話「黄綬褒章を受章して」

宮宅勇二会

員

3月 17日 (水) : 休会〔定款第7条第1節 (d)〕

畠山哲人会員

3月 24日 (水) : 卓話「障害者福祉と自立と社会奉仕」

3月 31日 (水) : 卓話動画「緩和ケア医の本気の終活」

神戸RC 関本 剛氏

承認

2) 緊急事態宣言延長に伴い今後の例会運営の件

・緊急事態宣言が解除されるまで例会を休会とする。(3月3日はオンライン例会とする)

承認

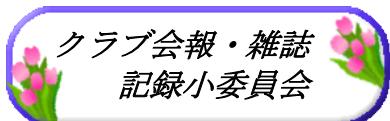
3) 観桜例会の件

・年間予定では、4月3日(土)に観桜例会を実施予定。承認

II 報告事項

① 2月度ロータリーレート 1 \$ = 104円 (現行104円)

② 1月度累計欠席連絡状況 電話: 0 メール: 6 fax: 0 出欠表: 6 なし: 2



RI会長エレクトが2021-22年度の会長テーマを発表

人のために世話をし、奉仕することが最良の生き方。なぜなら、その経験を通じて誰かの人生だけでなく、自分の人生を豊かにできるのだから……。国際ロータリーの次期会長であるシェカール・メータ氏はこう述べ、奉仕プロジェクトへの参加を会員に呼びかけました。

カルカッタ・マハガル・ロータリークラブ(インド、西ベンガル州)に所属するメータ氏は、ロータリー国際協議会中の2月1日、次期地区ガバナーに向けて2021-22年度の会長テーマ「奉仕しよう みんなの人生を豊かにするために」を発表しました。地区ガバナーエレクトを研修するための年次行事である国際協議会は当初、オーランド(米国フロリダ州)で開催予定でしたが、新型コロナウィルス流行のためバーチャル(オンライン)で開催されました。

ロータリーでの奉仕プロジェクトへの参加を通じて自身が人間として成長したことに触れたメータ氏は、その経験を通じてほかの人のニーズに目を向けるようになったと述べました。クラブ入会後まもなく、メータ氏はインドの僻村を支援するプロジェクトに参加しました。

そこで村人たちの状況を目にしたことで、奉仕への決意が固まりました。「同胞たちが抱える苦境を真に理解しました」とメータ氏は語ります。

その後も、子どもへの義肢の寄贈、家庭への安全な水と衛生設備の提供、地域の医療施設の改善など、数々の取り組みに参加しました。

「ロータリーが私の心に火をつけました。自分の身の回りを超えたところに目を向け、人類全体を考えるようになりました」とメータ氏。「奉仕が私の生き方となったのです。多くの方々

と

同じように、“奉仕とは、自分がこの地上に占める空間に対して支払う家賃である“という信条を持つようになりました”

メータ氏は、次期ガバナーに対し、次年度に自らが模範となって導き、測定可能・持続可能なインパクトをもたらす奉仕プロジェクトへの会員の参加意欲を引きだすよう呼びかけました。また、各クラブが「ロータリー奉仕デー」を実施することを求めました。

「ガバナーとしての役目が終わるとき、皆さんは、ご自身のリーダーシップ、ご自身がロータリアンとローターアクターに与えたインスピレーションのおかげで、会員による奉仕を通じて世界が前よりもよくなつたと感じるはずです」

多様性と会員基盤の向上に焦点を当てる

メータ氏は、2021-22年度には会員が女子のエンパワメントに力を注ぎ、教育、リソース、奉仕、機会など、未来の女性リーダーの成功に必要な手段を与えてほしいと述べました。その上で、多様性、公平さ、開放性に対するロータリーの信念を会員が活動の指針とすることが大切であると語りました。

“ロータリーが私の心に火をつけました。自分の身の回りを超えたところに目を向け、人類全体を考えるようになりました”

シェカール・メータ　　国際ロータリー会長エレクト

「世界各地で女子は多くの問題に直面しており、リーダーである皆さんは、こうした女子が抱える問題にロータリーが取り組み、それを和らげるよう導くことができます」

奉仕を通じて大きなインパクトをもたらすには、ロータリーの会員基盤を広げる必要がある、とメータ氏。全世界の会員数は、過去20年間、約120万人のまま横ばいです。このため、2022年7月1日までに130万人に増やすことを目指して地区で率先して活動するよう、次期ガバナーに呼びかけました。メータ氏の「Each One, Bring One」（みんなが一人を入会させよう）は、今後17カ月間、全会員がロータリーに一人を入会させることを求めるイニシアチブです。

会員基盤を広げながら、ポリオ根絶活動、新型コロナウイルスとの闘い、地域社会への奉仕を続けていくのは野心的な目標であることを認めた上で、「だからこそ皆さんの意欲が駆り立てられるでしょう」とメータ氏。「挑戦に立ち向かうのがロータリアンだからです」

2021-22年度テーマ 「奉仕しよう　みんなの人生を豊かにするために」



SERVE TO CHANGE LIVES



奉仕しよう　みんなの人生を豊かにするために